



# What's up, OITA!

《VOL.100》

2021年

7月発行



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

## 令和3年大分県私費外国人留学生奨学金 奨学生が決定しました！

6月9日（水）、大分県私費外国人留学生奨学金奨学生認定式が大分県庁で開催されました。当日は、各大学の代表者が県庁にて認定証を直接受け取り、その様子をオンライン（Zoomウェビナー）で配信して、その他の奨学生に視聴してもらうという、コロナ禍ならではの開催形態となりました。



各大学の代表者と、大塚企画振興部長（左から3番目）



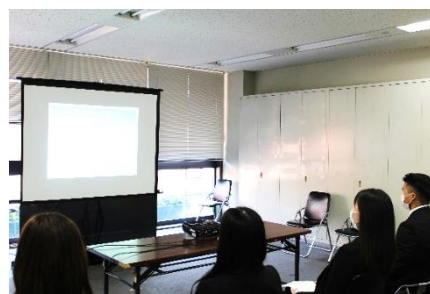
奨学生代表謝辞を述べる  
キン カンキさん  
（大分大学、中国出身）

大分県は、平成7年から毎年、大分県内の私費外国人留学生に対して奨学金による助成を行っています。今年度は、県内5大学の留学生80名に、年間36万円の奨学金の交付を決定しました。

この奨学金は、留学生の経済的負担を軽減し、学業に専念できる環境をつくるとともに、大分県への理解を深め、将来的に大分県との架け橋となってもらうことを目的としたものです。

奨学生は年3回実施される大分県講座やスタディツアー（魅力発見ツアーや企業訪問など）に参加し、大分県の歴史・文化・産業等に対する知見を深めていきます。

大分県を留学先として選んでくれた留学生のみなさんには、ぜひ大分での楽しい思い出を沢山持って帰ってもらいたいですね。



大分県講座を熱心に聴く  
留学生のみなさん

ふるさと  
大分の写真



大分市



関崎灯台



別府冷麺

別府市



不老泉

特集ページ：

# 宇佐市外国人総合相談センター開所

## のお知らせ

6月1日（火）、宇佐市に外国人総合相談センター（宇佐市勤労者総合福祉センター-さんさん館内）が開所しました。県内では、県が設置した外国人総合相談センター（大分市）に次いで2番目、**市町村が開設したセンターとしては初めての外国人総合相談センター**となります。



↑ 開所式の様子



↑ 宇佐市長と相談員の皆さん



← 開所式当日は茶道体験も開催しました！

宇佐市は、令和元年に「宇佐市多文化共生・国際交流推進プラン」を策定。担当部署として多文化共生・交流係を新設し、多文化共生社会実現のため、さまざまな事業展開を図ってきました。

昨年、新型コロナウイルス感染症による技能実習生の雇用や収入への影響、帰国困難者からの相談など、外国人が置かれる厳しい現状を見聞きし、これらの状況を少しでも改善するべく開所したのが「宇佐市外国人総合相談センター」です。

センターの運営は、元地域おこし協力隊員がつくった「One（ワン）ばうんど合同会社」が行っており、週4日（火・水・金（PM3時～7時）、日（AM10時～PM2時））開所。日本語・英語・ベトナム語はスタッフが常時対応し、中国語・韓国語についても事前に予約すれば対応可能です。対面での相談に加え、電話やメール、メッセージ（Facebook）でも相談を受け付けます。

県内では、別府市、大分市、中津市に次いで4番目に外国人居住者が多い宇佐市。日本人も外国人も住みよい市を目指して、奮闘中です。

些細なことでも気軽に相談してください！

### 【宇佐市外国人総合相談センター情報】

○場所 〒879-0471 大分県宇佐市大字四日市391-10  
さんさん館2F

○TEL 0978-25-4440

○E-mail usmis001@gmail.com





千人堂 (せんにんどう)



観音崎に馬頭観世音を祀った小さなお堂があります。大晦日の夜、債鬼に追われた善人を千人かくまうことができるといわれるから、千人堂といわれています。

浮洲 (うきす)



沖合の小さな州に漁業の神様、高部様を祀っており、高部様と鳥居は高潮や大しけの時でも決して海水につかることがないといわれるから、浮洲といわれています。

伝説の島といわれる姫島には、お姫様にまつわる神秘など数多くの言い伝えがあり、姫島七不思議として語り継がれています。

姫島七不思議

かねつけ石 (別名おはぐろ石)



別名を「おはぐろ石」とも言い、お姫様がおはぐろをつける時、石の上に猪口と筆をおいたところ、その跡ができたといわれるから、かねつけ石といわれています。

姫島七不思議

拍子水 (ひょうしみず)



お姫様が、おはぐろをつけた後、口をゆすごうとしたが水がなく、手拍子を打って祈ったところ、水が湧出したといわれるから拍子水といわれています。

浮田 (うきた)



大昔、池に棲んでいた大蛇を誤って埋めてしまったため、大蛇の怒りで田が揺れるといういわれから、浮田といわれています。

阿弥陀牡蠣 (あみたがき)

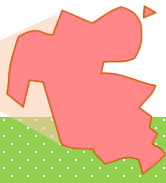


灯台の下の海蝕洞窟内に「牡蠣」が群棲し、海水につかることがなく、食べると腹痛を起こすといわれています。その牡蠣が阿弥陀三尊の形に似ているので、阿弥陀牡蠣といわれています。

逆柳 (さかさやなぎ)



お姫様が、使った柳の楊枝を土中に逆さまに挿したところ、芽を出したといわれるから、逆柳といわれています。



# 県内のニュース(6月)

6/18  
(金)

## 高校生平和大使に大分商の一宮さん 国連に核兵器廃絶訴える

大分市の大分商業高等学校国際経済課2年の一宮（いちのみや）そらさん（17）が「高校生平和大使」（約30人）に選ばれました。全国から約500人の応募があり、大分県からは唯一の選抜です。

高校生平和大使は被爆地の長崎市の市民団体が1998年、インドとパキスタンの核実験をきっかけにはじめたものです。

一宮さんは新聞で貧困に苦しむカンボジアの人たちの写真を見て衝撃を受け、「世界が平和でなければ解決できない」と同平和大使に応募。

8月14日～21日にスイス・ジュネーブの国連欧州本部などを訪れ核兵器廃絶を訴えるほか、来年7月には文部科学省主催の「トビタテ！留学JAPAN」の県代表としてカンボジアで貧困問題にも取り組む予定です。

6/9  
(水)

## 温かく魅力的な「温人」、SNSで紹介 別府青年会議所がPR事業

別府青年会議所（松田志朗理事長）は、泉都の魅力をPRする事業として「べっぶの温人（おんじん）リレー」をスタートしました。「温人とは」別府市で活躍する、温泉の様に人々を温かく包み込み、ひきつけるユニークで魅力的な人物のこと。一人当たり約5分間の動画をYouTubeで配信し、11月26日（いいふろの日）の最終回まで計26人の温人を紹介します（毎週金曜日更新）。

6/26  
(土)

## 大分県勢が22連覇、全国乾椎茸品評会 個人は3部門で最高賞

静岡県藤枝市で開催された第68回全国乾椎茸（しいたけ）品評会で、大分県勢が22大会連続、通算54回目の団体優勝を果たしました。個人では全5部門のうち3部門で最高の農林水産大臣賞を獲得しています。

品評会は日本椎茸農協連合会が主催したもので、昨年は新型コロナウイルスの影響で中止。今年は2年ぶりの開催となりました。今回は感染拡大防止のため食味審査はせず、形や色、大きさを競い合いました。

県椎茸農協（大分市勢家）の青野浩志組合長（65）は「暖冬で栽培環境が厳しく、団体優勝は生産者の努力のたまもの。県産原木乾シイタケをぜひ県民に味わってほしい」と話していました。

大分県内の乾シイタケの1世帯当たりの消費量がこの20年で約3分の1（総務省家計調査による）に減っている中、県林産振興室は「お中元シーズンを迎えるので贈答用や家庭消費を促したい。若い世代にも食べてもらえるようにレシピも紹介していく」とコメントしました。



### <特集> ノジの日本語ものがたり ①



1

ネイティブ先生との英語授業を一番楽しみにしていた英語好き女子だった。



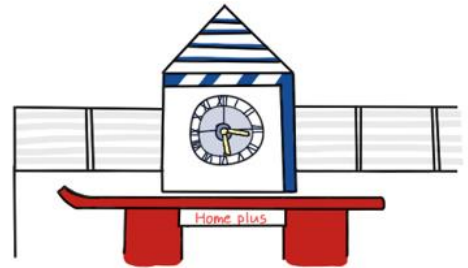
5

日本人と話しているときいつも聞かれる質問が一つ、



2

ある日、母との買い物の帰り道に



6

この質問に答えるため、一緒に14年前に戻ってみよう。



3

急に誰かに声をかけられ立ち止まり…。



7

10歳のノジは外国人を見かけると突然声をかけたり、



4



英語が大好きだった頃のノジちゃん

# 国際交流員 旬な情報をお届け! From our Reporters

## 梅雨に彩るあじさい寺

梅雨といえば紫陽花。しっとりと雨に濡れる紫陽花の花は美しくとも派手過ぎず、私はとても好きです。

先月の中旬頃、別名「あじさい寺」とも親しまれ、豊後大野に位置する普光寺で花見してきました。

本堂の向こう、大きな谷を越えた岩肌に彫りだされた不動明王像は、国東半島の熊野磨崖仏とともに日本最大級の磨崖仏です。約12万年前の阿蘇山3回目の火砕流でできた溶結凝灰岩に彫られ、鎌倉時代の作と言われています。

800年もの歳月により表面がなめらかになり、本来は目に見えないはずの「時間」も伝わる彫刻です。境内の小路を巡りながら、雨に煙る花の群生に優しく微笑む不動明王像を見ると、心が洗われるような気持ちになります。



シエ シンラン  
Xie Xin Lan



## からあげの聖地



盧 知榮  
Noh Jiyoung



先月、映画を観に中津市へ行ってきました。

ディズニーが大好きな私は、映画公開日に映画館でディズニー映画を観ることが大きな喜びです。映画を観た後、うわさの「中津唐揚げ」を食べることにしました。

おいしい唐揚げを食べようと中津市役所から提供されている「中津市からあげマップ」を参考にお店を探しましたが、意外と「唐揚げ定食」が食べられるところは少なかったです。

それだからあげ単品を食べることになりましたが、ジューシーでサクサクした食感、ちょうどいい味付けがとってもおいしかったです！あまり好物ではない鶏胸肉の唐揚げもなんとしっとりしておいしかったことか…。ああー、帰りに1キロぐらい買ってあげば良かったです（笑）。

## あなたの活動を世界に紹介しませんか？

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！

（様式は任意です）

【記事提供／お問い合わせ先】

国際政策課 担当：千原、キム

【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)

募集中!



## ○編集後記○

読者の皆さまのおかげで、vol.100まで発行することができました！

これからも、読んで楽しい&懐かしい記事を、書いていきますので、応援よろしく

お願いします！  
（担当職員 千原）

